

# 精神科看護師の365日

平成25年度から取り組んでいる日精看のテーマ「365」にちなみ、全国のさまざまな施設で働く精神科看護師の日常を紹介します。

file.13

## 地域ナースの1日

ストライドクラブ所長(就労移行支援・就労継続支援B型 多機能型事業所)  
寺沼古都さん(43歳・精神科看護歴21年)の場合

### 精神科看護師に なったきっかけ

大 学を卒業して新卒で入職した総合病院で配属されたのが精神科でした。そこに4年勤めた後、母校の大学で3年ほど助手として勤務。2002年に、日精看の末安会長が理事長を務めるストライドクラブに非常勤スタッフとして入りました。翌年に常勤勤務になり、いまに至ります。ストライドクラブは、精神障がい者のための地域リハビリテーション・モデルの1つである「クラブハウス」を運営し、メンバーとスタッフが共働り、メンバーそれぞれが自分の価値や目的を取り戻し、社会参加の道を模索していくことを支援しています。クラブハウスについては、大学在学中に知ったときから興味をもっていました。

### 現在の仕事内容

昼 食づくりや事務作業など、クラブハウスを運営するために必要な仕事をメンバー（現在は13～14人ほど）とスタッフで役割分担して進めています。日精看からは、東京会場の研修会でコーヒ

ーサービスをさせていただいたり、事務局スタッフの名刺を作成させていただいたりとお仕事をいただいています。また、国内に5か所ある他のクラブハウスとも連携をとって、情報交換のための会議などに参加しています。今年8月には、東京・中野で第4回アジアクラブハウス会議も開催されます。

寺沼さんの

### ある日のスケジュール

- 9:00 出勤
- 9:40 開所
- 10:00 全体ミーティング  
(当日の役割分担を決める)
- 10:20 ユニットごとに分かれて  
ミーティング、活動開始
- 11:45 昼食の配膳
- 12:00 昼食・休憩
- 13:30 掃除
- 13:45 ユニット活動
- 15:00 全体ミーティング  
(活動報告)
- 15:30 プログラム終了
- 16:00 翌日の準備、  
関連諸機関への連絡など
- 18:00 退勤(残業も時々)



### やりがいや励みになること

年 単位でメンバーとかかわるなかで、日々を重ねていくなから見えてくる変化に立ち会えることが喜びです。また、共働りにおいてはメンバーさんに助けてもらうことやお互いに成長していく場面もあって、「ケアする側・される側」という一方通行ではない関係性が築ける点にやりがいを感じます。

### 今後の目標

ス トライドクラブ設立の理念のとおり、当事者の方々が地域で胸を張って堂々と生きていけるためのお手伝いをこれからもていねいにしていきたいと思っています。